

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平6-149168

(43) 公開日 平成6年(1994)5月27日

(51) Int.Cl.⁵

G 0 9 F 21/04

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

C 6447-5G

審査請求 未請求 請求項の数3(全 3 頁)

(21) 出願番号 特願平4-333417

(22) 出願日 平成4年(1992)10月30日

(71) 出願人 592112905

吉村 馨

群馬県伊勢崎市豊城町2104-3

(72) 発明者 吉村 馨

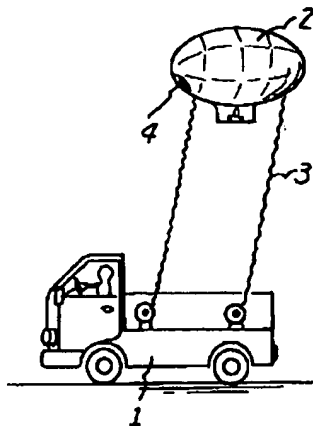
群馬県伊勢崎市豊城町2104番地の3

(54) 【発明の名称】 屋外移動広告システム

(57) 【要約】

【目的】 単一の移動可能な広告媒体に多数のソフトを使用できるようにするものであって一地域に限定されない広範囲な広告効果を発揮させ、非常時に空中浮遊体を収納できるようにする。

【構成】 地上移動体に追従する空中浮遊体を宣伝媒体とするものであって、地上移動体と空中浮遊体との間に連結手段を配したもので、非常時に空中浮遊体を地上移動体に収納できるようにした。



1 自動車

2 気球

3 ロープ

4 拡声器

1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 地上移動体に追従する空中浮遊体を宣伝媒体とするものであって、地上移動体と空中浮遊体の間に連結手段を配し、強風等の非常時に前記空中浮遊体を地上移動体に収納できるようにした屋外移動広告システム。

【請求項2】 空中浮遊体は無人飛行体であって、地上移動体より発信した信号により音声広告するようにした請求項1記載の屋外移動広告システム。

【請求項3】 広告手段が空中浮遊体の表層部に映写させるようにした映像である請求項1記載の屋外移動広告システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 この発明は、屋外移動広告システムに関する。

【0002】

【従来の技術】 従来より屋外広告方式として野立または市街地に看板を立てておく方式とか、アドバルーン等の空中浮遊体を利用するシステムがある。

【0003】 上記野立看板やアドバルーン等はいずれも単一のソフトに限定されてしまい、地域的にも局所的に限定され、遠方の人々には広告効果が全くない。

【0004】 また、飛行船、気球等に商標や会社名を表示して移動させることによって広告効果を広めようとしてもソフトが単一のものに限定されてしまう欠点がある。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】 この発明は、上記のような欠点を克服するために単一の移動可能な広告媒体に多数のソフトを使用できるようにしたものであって、一地域に限定されない広範囲な広告効果を発揮させるシステムを提供しようとするものである。

【0006】

【課題を解決するための手段】 この発明は、地上移動体に追従する空中浮遊体を宣伝媒体とするものであって、地上移動体と空中浮遊体の間に連結手段を配し、強風等の非常時に前記空中浮遊体を地上移動体に収納できるようにしたもので、空中浮遊体は無人飛行体であって、地上移動体より発信した信号により音声広告するようにし、また広告手段が空中浮遊体の表層部に映写させるようにしてもよい。

【0007】

2

【作用】 上記のように構成することにより、地上移動体の広告ソフト（例えば、音声合成装置により種々のソフトを作成し、これをテープに収めたもの）を信号で、飛行体に飛ばして音声で地上に宣伝することができる。強風等の非常時には連結手段を巻取るようにして空中浮遊体を地上移動体に収納できる。空中浮遊体は、地上移動体の動きに追従するので、広範囲に宣伝できるし、ソフトが次々に変えられるので、単一の宣伝媒体ながらも広告効果が大きい。

【0008】

【実施例】 図1は、地上移動体として自動車1を使用し、空中浮遊体として気球2を使用した場合の概略システム図で、空中浮遊体である気球の上昇は、水素ヘリウムおよび熱等が用いられる。自動車と気球の間には連結手段としてロープ3が張られており、強風等の非常時には、図2に示すようにこのロープを巻取ることにより自動車の荷台に収納できるようになっている。広告手段としては、自動車からの信号による拡声器4を利用した音声による。

【0009】 図3は、広告手段として自動車の指令に基づき、気球の投射器5による投射光で表面に文字や絵などを映写させる広告システムの概略方式図である。この場合、種々のソフトを用意することにより各種の宣伝が可能となる。

【0010】

【発明の効果】 この発明は、上記のように構成したので、単一のハードウェアで種々の多数のソフトが利用でき、地域的にも局所的に限定されることなく、移動可能なので、大きな宣伝効果を奏する。しかも、地上移動体と空中浮遊体の間に連結手段を配したので、強風等の非常時には、空中浮遊体を地上移動体に収納できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の屋外移動広告システムの一実施例の概略方式図である。

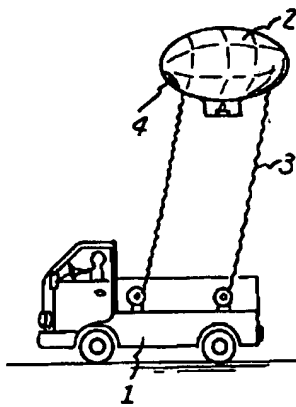
【図2】 同実施例の空中浮遊体を収納した状態を示す概略方式図である。

【図3】 同他の実施例の概略方式図である。

【符号の説明】

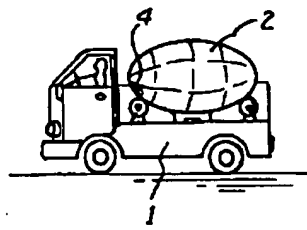
- 1 自動車
- 2 気球
- 3 ロープ
- 4 拡声器
- 5 投射器

【図1】

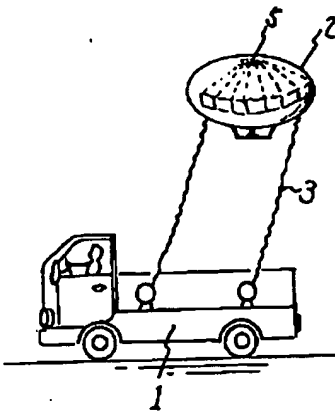


- 1 自動車
- 2 気球
- 3 ロープ
- 4 気声器

【図2】



【図3】



- 1 自動車
- 2 気球
- 3 ロープ
- 5 投射器